

さあ、作ってみるもん！使ってみるもん！

個別の教育支援計画（石狩モデル）「さあもん」

＜幼稚園・保育所版＞

～子どもたち一人一人の未来へのメッセージ～

【 記 入 例 】

石狩管内特別支援連携協議会
石狩管内専門家チーム会議

個別の教育支援計画シート I (幼稚園・保育所用)

～これまでの様子と現在の支援の状況～

園(所)名	〇〇幼稚園		作成年月日		平成	26	年	5	月	20	日	
記入者	◇ ◇ ◇ ◇		学年	年長	生年月日	平成	21	年	12	月	18	日
ふりがな 幼児名	さもん たいが 左 門 大 河		性別	男	担任名	◇ ◇ ◇ ◇						
家族構成	父、母、姉(小2)、祖母											
主障がい	自閉症	診断名	アスペルガー症候群	手帳の有無	無	手帳種						判定

●乳幼児検診時の様子

観 点	検診時の状況	その後の状況
運動発達	・3歳児検診において、微細運動が苦手であることを指摘された。	・現在でも、細かな作業が苦手である。
言語発達	・3歳児検診において、言語発達に遅れがあることを指摘された。	・△△市発達支援センターに通い、言語聴覚師から指導を受け改善されてきている。
社会性	・1歳6か月検診において、人と目を合わせないことを指摘された。	・人の目を見て話すようになったが、同世代の友だちとのコミュニケーションをとることが苦手である。

●相談の記録

項 目 相談機関	時期・期間	相談内容	担 当
言葉の発達 △△市発達支援センター	平成25年～現在	・言葉の発達の遅れについて	■■言語聴覚士
心理検査 子ども発達クリニック	平成25年～現在	・心理検査の実施と発達の段階に応じた支援について	〇〇医師

●現在の支援の状況

支援機関	支援の内容	連絡先・担当
〇〇市発達支援センター	・言語訓練を行い、不明瞭な言葉が少なくなるよう指導を行っている。	住所：〇〇市南3条西24丁目 TEL：〇〇〇-〇〇〇〇 担当：■■言語聴覚士
子ども発達クリニック	・年に2回診察を行い、発達の段階を踏まえた関わり方を保護者に伝えている。	住所：〇〇市北24条東8丁目 TEL：△△△-△△△△ 担当：〇〇医師
		住所： TEL： 担当：
		住所： TEL： 担当：

個別の教育支援計画シートⅡ(幼稚園・保育所用)

～現在の様子と合理的配慮の内容～

園(所)名	〇〇幼稚園				平成	26	年	5	月	20	日
記入者	◇ ◇ ◇ ◇	学年	年長	生年月日	平成	21	年	12	月	18	日
ふりがな	さもん たいが		性別	男	担任名	◇ ◇ ◇ ◇					
幼児名	左 門 大 河										
家族構成	父、母、姉(小2)、祖母										
主障がい	自閉症	診断名	アスペルガー症候群		手帳の有無	無	手帳種		判定		

※シートⅠを作成している場合は、上記の記入は不要です。

●現在の様子

	家庭での様子(年度始め)	家庭での様子(年度末)	幼稚園・保育所での様子(年度始め)	幼稚園・保育所での様子(年度末)
遊びの様子	<ul style="list-style-type: none"> 携帯ゲーム機で、一人で遊んでいることが多い。 祖母と一緒にカルタで遊ぶことが好きである。 	<ul style="list-style-type: none"> 姉と一緒にトランプで遊ぶようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に遊ぶことは少なく、一人でホールや砂場で遊んでいることが多い。 集団の遊びに参加することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の友だちと遊ぶ場面が見られるようになった。 教師と一緒に集団での遊びに参加できるようになった。
生活・行動面	<ul style="list-style-type: none"> 初めて行く場所などでは不安になるが、慣れると楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不安になることは変わらないが、慣れるまでの時間が短くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めての行事など、見通しがない活動の場面では不安になり泣いてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に見通しをもたせることで、初めての行事などにも落ち着いて参加できるようになってきている。
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 不明瞭な言葉があるが、家庭では特に問題は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 不明瞭な言葉が減り、自分から話しかけてくるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「サ行」「タ行」に不明瞭さが見られる。 友だちの気持ちを考えずに話すので、トラブルになることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の不明瞭さはあまり見られなくなり、聞き取りやすくなった。 友だちとの関わりは改善されてきているが、トラブルは見られる。
運動・動作	<ul style="list-style-type: none"> キャッチボールが好きで、父親とキャッチボールをすることが好きである。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭では年度始めの様子とあまり変化は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 走ることが大好きで、かけっこでは学級で1番である。 細かい作業は苦手で、折り紙などの活動を嫌がり、教室から出て行くこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 細かい作業は苦手であるが、教室から出て行くことはなくなり、活動に参加するようになった。

●特記事項(健康上の配慮事項(アレルギーなど)・検査結果・生育暦等)

- ・甲殻類(エビ、カニなど)にアレルギーあり、食べたときには、エビペンを使用する必要がある。
- ・WISC-Ⅳ:実施日:平成25年1月30日
全検査IQ〇〇、言語理解〇〇、知覚推理〇〇、ワーキングメモリー〇〇、処理速度〇〇

●幼稚園・保育所における合理的配慮の内容

	観 点	支援の内容
教育内容	学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮	・教師と一緒に友だちと遊ぶ場面を多く設定する。
	学習内容の変更・調整	
教育方法	情報・コミュニケーション及び教材の配慮	・写真カードや絵カードなどを活用し、視覚的に分かりやすい支援を行う。
	学習機会や体験の確保	・行事等では、見通しをもった活動ができるよう、写真カードを活用するなどして活動内容の流れを伝える。
	心理面・健康面の配慮	・本人の様子について、家庭と連絡帳により情報交換を行う。
支援体制	専門性のある指導体制の整備	・職員全員が北海道立特別支援教育センターの研修講座を受講し、専門性の向上を図る。
	幼児、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮	
	災害時等の支援体制の整備	・園の防災計画の中に支援体制を明記する。
施設・設備	園内環境のバリアフリー化	・掲示物の配色などが刺激にならないような工夫を行う。
	発達、障がいの状態及び特性に応じた指導ができる施設・設備の配慮	・落ち着かなくなったときにクールダウンができる教室を準備しておく。
	災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館にパーテーションを準備しておく。 ・当該児童が好む玩具などを用意しておく。

個別の教育支援計画シートⅢ(幼稚園・保育所用)

～教育的ニーズと支援の目標～

●本人・保護者の願い		
	現在の希望	将来の希望
本人	・学校に行ったら、運動会のリレーの選手になりたい。	・オリンピックの100m走で金メダルをとりたい。
保護者	・小学校は通常の学級に在籍させたい。	・高校に進学し、卒業後は自立した生活を送ってもらいたい。

●教育的ニーズの選定	
本人のよさ	よさを踏まえた教育的ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きである。 ・自分より小さい子どもの面倒を見るのが好きである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が得意なので、体を動かす活動をとおして、自信をもたせ、活動に対する意欲を高める。 ・自分より小さい子どもとの関わりをとおして、他者との関わることの楽しさを感じさせるとともに、教師と一緒に友だちと関わる場面を増やす。

●課題・支援の目標			
	課題	支援の目標(長期)	評価
①	・友だちの気持ちを考えずに話すので、トラブルになることがある。	・友だちとの適切な関わり方を身に付ける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 長期目標の期間は幼児の実態に応じて2～3年の期間を設定し、評価してください。 </div>
②	・初めての行事など見通しがもてない活動に参加するときには不安になる。	・慣れない活動においても、不安にならず参加することができる。	
③	・不明瞭な言葉があり、聞き取りにくいことがある。	・不明瞭な言葉を減らし、自信をもって話すことができるようになる。	

●支援内容・機関				
支援の目標(短期)	支援機関	支援内容	支援の手立て	評価: 成果(○)と課題(●)
友だちとのトラブルが1日5回以内になる。 (長期目標①)	○○幼稚園 子ども発達クリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・本児の実態に応じた活動場面を設定する。 ・保護者に対し、本児との適切な関わり方について助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に友だちと関わる場面を増やし、友だちとの関わり方の指導を行う。 ・心理検査等を実施し、本児の発達段階を把握する。 	○教師と一緒に活動しているときは、友だちとのトラブルは少なくなった。 ●教師と一緒に活動していないときはトラブルが1日に5回以上になるので、継続した指導の必要がある。
園の行事に泣かずに参加できるようになる。 (長期目標②)	○O幼稚園	・本児の特性を踏まえて、視覚的な支援を行う。	・写真カードや絵カードなどを活用し、活動に見通しをもたせる。	○活動に見通しをもたせることで、泣かずに行事に参加できるようになった。 ●視覚的な支援がなくても、行事に参加できるよう継続して指導する必要がある。
「サ行」と「タ行」を聞き取りやすいように話すことができるようになる。 (長期目標③)	○O市発達支援センター	・言語聴覚士による、言語訓練を行う。	・明瞭に発音できたときは、褒めることで話すことを楽しいと感じさせる指導を行う。	○「タ行」については、不明瞭さが解消された。 ●「サ行」については不明瞭さがまだ見られるため、今後も継続した指導の必要がある。